

史料群番号 98

史料群名	かわさききちざえもん 川崎吉左衛門家文書	旧所蔵者	(川崎氏)
探訪時住所	(鹿児島県川辺郡西加世田村片浦)		
現在の住所	鹿児島県南さつま市		
探訪年月	不明		
史料の年代	文政6(1823)年～昭和10(1935)年	史料の総点数	468点
年代の内訳	近世 69点/近代 300点/ 99点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪に関する記録はなく、詳細は不明である。

史料群の概要

探訪地の川辺郡片浦は、近世から明治22年までの村落名で、その後西加世田(にしかせた)村、大正12年に笠沙村、昭和15年に笠沙町、平成17年に南さつま市となった。

片浦は、薩摩半島の最西端に突き出た野間半島の北側に位置した。史料は片浦の網主川崎家に伝わったものであろう。安政6年「鮪網諸魚取揚覚帳」は、作成者として「薩州加世田高崎鮪網主片浦之川崎与通二」と書かれていて、近世期に川崎家が鮪網の網主だったことがわかる。鮪網の水揚帳など幕末から明治の30年代までの網経営帳簿が残っている。

